

## 「香港中文大学サマースクール 参加報告書」

京都大学総合人間学部・江連沙織

## ① 学習成果

今回のサマースクールでは約3週間、中国語の授業を受講してきました。以前、台湾に5年ほど住んでいたこともあり、大学で中国語を初めて履修する人よりはリスニング力や会話力、読み書き能力は高かったのですが、何年も中国語を一切使用しない環境であったために、その語学力の低下は著しいものでした。そこで見つけたのがこのサマースクールの参加者募集案内で、迷わず希望を提出したのを記憶しています。

私が参加したクラスは授業自体を中国語ですすめるクラスで、1日に6時間近い時間中国語を聞いていました。その甲斐あってか、最後の週には先生の発言をほぼすべて理解できるまでに語学力を伸ばすことができました。それと同時に、プレゼンテーションの中間試験を通じて自分の中国語の発音を未熟さも痛感しました。日本語にはない発音で、英語を母国語とする学生は容易に発音することができる単語が、日本語を母国語とする私たちにはなかなか難しく感じるどころがあり、先生に何度も訂正されたのは今となっては良い思い出です。

## ② 海外での経験

香港では大学の寮に宿泊していました。そこで大変貴重な経験をすることができました。

私は3人部屋だったのですが、ルームメイトは2人ともアメリカ人でコミュニケーションをとるのに非常に苦労しました。3週間という短い滞在でしたが、それでも最後には彼女たちと仲良くなることができ、楽しい時間を過ごせました。私の英語力が低いために思ったことをそのまま伝えることができず、何度も歯がゆい思いをしました。こんなにも英語を勉強したいと思えたのは初めてです。彼女たちのおかげで帰国してからも語学を磨くモチベーションが高く、彼女たちには本当に感謝しています。

## ③ プログラム内容

今回のプログラムでは毎日の授業のほかにも大学側が主催のツアーにも参加しました。週末にマカオ、そして中国のシェンチェンに行ってきました。マカオでは世界遺産の見学をし、マカオで最も美味しいと有名なエッグタルトを食べ、ひたすら満足だったマカオツアーとは裏腹に、シェンチェンでは驚きの体験の連続でした。シェンチェンで最も大きな本屋では売り物の本を当たり前のように床に座りものを頬張りながら読む人々、遊園地ではごみ箱には捨てずそこらへんに放り投げる。マナーが悪いと言ったらそれまでですが、ものすごい文化の違いを楽しむことができたと感じています。

## ④ 進路への影響

京都大学から今回のサマースクールに参加したメンバーが学部も学年も多様多種で様々な刺激を受けました。就職活動を終えた先輩のお話や夢を追って研究を続けている人、まだ2回生の自分には遠い世界だと思っていた、卒業後の世界について考えるいいきっかけになりました。中国語を勉強しているからには、この語学力が生かせる仕事に就きたいという思いがますます強くなりました。